

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	文化・スポーツ振興課
会議名 (審議会等名)	第6回 嬉野市文化振興審議会	
開催日時	平成27年7月28日(火) 13:30～	
開催場所	嬉野市中央公民館 2F 第2研修室	
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	青木委員、江口委員、梶原委員、木原委員、徳永委員、東島委員、松尾委員、水山委員、森委員、森委員、森山委員、山田委員
	事務局	市民福祉部長、文化・スポーツ振興課課長 同課副課長、同課主任、同課主任、同係員
	その他	(株)ぎょうせいより2名
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	① 施策の体系案 ② ヒアリングシート ③ 文化振興計画(他市の例)一覧 ④ 文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)ポイント	
審議等の内容	別紙のとおり	

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	文化・スポーツ振興課
議 題	『施策の体系』案について		
内 容	施策の体系案について各委員からの意見聴取		
審議経過	事務局	<p>今回は、事前に配布しました「施策の体系案」の基本施策の中で、今後重点的に取り組むべきだと思えるものを出して頂き、計画の中に嬉野らしさをちりばめていくためには、どこがなぜ大事なのかという意見を頂きます。ヒアリングシートをもとに意見をお聞きしたいと思えます。※施策の体系案、配布資料についての説明</p>	
	委員	<p>私は重点的に取り組む基本施策として、1-①【文化活動に関していくことにより活性化すると思う】、5-①【すばらしい自然と温泉という資源を活用し嬉野の魅力を国内外に発信する】、6-①【郷土芸能の競演会「郷土芸能まつり」をしては？ 地域住民が応援することで、他の文化を知ることになる】と書きました。3は6に入ると思えます。4は施設の問題。もう施設は十分あるので、工夫し改造して何にでも使えるようにした方が良いと思えます。たとえば嬉野の公会堂は、利用者が照明・音響設備を充実して欲しいと要望を出してもなかなか改善されない。ここをしっかりと頂ければ、たとえば武雄市の文化会館でやっている踊りの発表会なども地元の嬉野でできると思えます。2では「風日（かざび）」と「おくんち」という行事が抜けています。風日は 8/31、9/1 に浮立もする奉納の行事、おくんちは豊玉神社の奉納です。8月の花火大会も書いてないが、みゆきの里では夜店が出て盛大にやっていて町外からも人がやってきます。それから、サークル活動でも高齢者の受講生が多いが、教室をバリアフリーにしてほしい。階段のない多目的教室をつくらないと、参加したいけど来られないという高齢者がほとんどで</p>	

	事務局	<p>す。施設のユニバーサルデザイン化に期待します。</p> <p>公民館、公会堂の多くは昭和 30 年代の施設。そういった施設はすべての人が利用しやすいユニバーサルデザインであるべきだという話は、公民館の改築を含め少し動いてきているが、まだ具体化していない。跡地に作る公民館は二階建てではなく平屋という案も出ていません。</p>
	委員	<p>私は文化に対して、認識→共有→継承→発信が大切であるという考えを持っています。今回はどれも当てはまると思う項目があったので、選ぶのに迷いました。1-②を選んだのは、市内の文化活動の具体的情報が十分でなく、一部の人だけのものになっていると思うからです。3-①は、文化を共有するだけではなく次世代へ継承しなければ、文化は停滞しいずれ途絶すると考えるからです。5-①に関しては、ボランティアのガイドをやっていても町の方々が地元の塩田津の町並みの魅力を十分把握しておらず、他所から来た人から聞いて再認識することもあります。嬉野市の魅力を市内のみならず外部にも発信することで、外部から学ぶ必要もあると思い選びました。歴史など地元の人が意外とわかっていないので、もっと郷土のことを勉強していく必要もあると思います。</p>
	委員	<p>風日では、地域の大人と子どもを巻き込んで浮立を公民館で練習しています。こういう地域コミュニティをうまく利用して、縦社会の連携ができるような心のふれあいの場を増やすことが大切だと思います。やきもの、スケッチ大会、茶道など人と人との接触を増やすような仕掛けや仕組みづくりを心がけてつくっていったらいいのではないのでしょうか。</p>
	委員	<p>私は6-①などを選びました。【文化会館、公民館、リバティ各施設の PR を】【文化活動を四季折々にまとめ、観光イベントに PR を】【文化活動の連携が少ないので、各地区のコミュニティ活動の活発化を】。嬉野にはいろいろ施設はあるが、あまり利用されていない印象があります。鹿島市のエイブルはいつも賑わっており、エイブルでは最低 5 人仲間を集めれば、教室使用料無料で趣味・学習など講師を事務局で紹介してくれます。嬉野市もそういう施設の利用方法の工夫があつたらいいのではないのでしょうか。リバティもできたので利用方法をご一考いただきたいと思います。あとは文化活動の連携が少ないので組織のつながりができるとよいと思います。</p>

委員	<p>2-②については、伝統文化遺産、先人たちから受け継がれてきたもの、具体的には浮立などを保存継承していくためにもその環境作りは非常に大切だと思います。5-②の文化交流の活動は市民が主体でやっていかなければいけません。国際交流も、これからの国際社会にむけて、異文化を知ることは子どもたちのためにも良いことです。6-②は、文化振興のうえで担い手の発掘育成は大切だと考えます。そういったことを具体的にどうやっていくのか、それが課題ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>今回は文化振興の基本計画の方向性策定ですが、資料の筑紫野市の例のように、次の段階で具体的なアクションプランを検討することが必要かと思えます。</p>
委員	<p>私も2と5を選びました2-①について、文化財の伝統文化の保存・継承には行政の力が大きいと思います。個人個人で同好会などががんばっても難しいところが多いので、ぜひ行政ががんばってもらいたいと思います。2-②【伝統芸能等、後継者の育成は担い手の情熱・技術の継承を含め非常に難しいことで、時間を必要とすることなので支援して頂きたいと思います】5-②【単発的なイベントではなく嬉野ならではの味わいと深みのある文化イベントを開催し、定着させ交流が広がればと思います】。交流のところでは、自分たちが主体になって広げて楽しんで、知って再認識してということができればと思います。</p>
委員	<p>資料の筑紫野市の例はわかりやすいと思いました。1-①も2-②も現在行われている活動を、目立たないものも含めて正確に把握して支援していくことが重要だと思います。4-②は、魅力的な企画を立案して多くの人に参加をうながすことが大切です。2-①の文化財や伝統文化は共有財産です。文化的な活動にあまり参加しない人を取り込む意味でも、文化財の維持保存は大切なことだと考えます。しっかりお金をかけて教育委員会などがやっていくべきものなのかもしれません。</p>
委員	<p>私は、1-①【限られた人だけでなくすべての市民が文化とふれあう方がいい】、2-①【嬉野独自の文化財、伝統を継承する環境づくりにより担い手も育成されていくのでは】5-①【市の文化資源、魅力発信によって市民の文化イベントを観光交流に発展していく】</p>

	<p>を選びました。市民全体が文化活動をしてほしい、若い人に受け継いでもらいたい、嬉野市の魅力を大事にしてほしい、と思います。子育てしてきた立場とすれば、土日は子どもの社会体育や部活に時間をどうしてもとられてしまい、文化連盟の文化活動などには参加しにくい状況があると思います。</p> <p>委員</p> <p>文化を考えるときに、私は「創って感動する文化」と「観て感動する文化」は両輪であるべきと考えます。1-①【創る文化】は、市民の文化活動が盛んであれば、それを観て感動して自分たちも創ってみたいと思い、それがまた観る文化につながっていくのでは。3-①【観る文化 創る文化】は子どもたちが大きくなったとき、この町でした最初の文化体験が何かにつながっていけば素晴らしいことです。4-①【観る文化】は、芸術活動、郷土芸能、文化財を観る、そこから何か感動して何かを得る機会を作ることになると思います。6-②【仕組み】は、観る文化と創る文化を支える仕組み作りが大切。あとは、文化財の見せ方の工夫は必要だと思います。背景にある歴史が想像できるような物語が見えるようなやり方があると良いのではないのでしょうか。</p> <p>委員</p> <p>1-①【広く PR して市民に理解と意欲を生み出していくことが必要】2-①【歴史遺産について、可視的にもっと広く市民に伝え、理解してもらうことが必要】4-①【文化に触れ、芸術鑑賞などの機会を得ることにより文化・芸術への理解が大きくなると思う】を選びました。私は、文化活動も文化財も、それぞれの市民が理解するために、その歴史や背景を知らせる、宣伝することがとても大事だと思います。私も郷土史研究会で勉強する前は鍋島家ゆかりの遺跡など、あまり知りませんでした。文化活動を皆さんに訴えるためにはもっと宣伝しないと、知らないために文化活動に参加しないということもあります。嬉野市報の文化財についての記事は楽しみな、とてもいい企画です。文化財・郷土史の知識、背景を共有する仕組みを行政としても働きかけなければいけないと思います。それから、嬉野には文化財に対する説明板が少なく、内容に間違いがあっても訂正していません。文化財の冊子も武雄市には立派なものがあるので嬉野にも作って欲しいです。</p>
--	---

		(意見交換 その他)
	委員	吉田地区では、11月のおくんちのときは地域コミュニティも一緒に連携し豊作祈願をし、郷土芸能も盛り上げています。大人も子供も村人総出のとても良い行事です。駐車場で農産物を持ってきたりして、客も増えている。小浮立は夏休みから練習しています。少子高齢化で難しい部分もあるが、両岩の小浮立は県の重要無形文化財でもあるので、指導などもうまく続けていくと良いと思います。
	委員	笛を吹く人材がないので風日をしないという地区もあります。郷土芸能の担い手の育成の環境づくりは大切だと思います、
	委員	嬉野や塩田の郷土史を学ぶのは本当に大切なことです。この機会に、嬉野市として組織を立ててほしいです。
	委員	歴史の維持・保存のところで、文化財の案内板やマップを地域の人や子どもも巻き込んで一緒に作れば、もっと広がるのでは。スケッチ大会も、ただ描くだけではなく、塩田の港の由来を聞いてから描くなどの仕掛けがあれば、もっと盛んになるのではないのでしょうか。方法を考えれば良いと思います。
	委員	中国に限らず外国人観光客が増えているという印象はあります。お店をやっていると、観光客との片言や筆談の会話は楽しいです。観光の良さとは、その土地の人や風景にふれることが一番だと思います。そういった視点も必要だと思います。
	委員	塩田小学校「よかところ祭り」のような土地の良さを紹介する催しも、もっとあって良いのでは。コミュニティでは大草野地区でゲンジボタルの保護を熱心にやっている。文化活動の活性化を、土地の特性から発想するというやり方もあるのではないのでしょうか。
	委員	スケッチ大会などをしても、小中学生は忙しく、学校、指導者によって取り組み方がちがう。共通の素地をつくることが大事ではないのでしょうか。
	委員	計画には、短期・中期という視点も必要だと思います。この中から重点項目だけを選ぶというのではなく、もっと大きな目標を考えながら進めた方がよいのではないのでしょうか。

	事務局	今後の予定は、12月のパブリックコメントに向けて、今回の意見を反映した計画案を策定して事前送付しますので、次回の審議会で検討していきたいと思えます。
その他	次回の審議会開催予定は10/6（火） 13：30～	